

<b>FEI 総合馬術競技 1スター(1*) 2009 馬場馬術課目 A</b> 参考時間:入場から最後の敬礼まで - 約4分	<b>CCI*/CIC* A</b>
--	--------------------

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
出番順	競技者名	所属	馬名

		運動課目	着眼点	最高点	採点	観察所見
1.	A C	尋常速歩で入場 尋常速歩で左手前蹄跡に入る	修正、リズムと真直性 回転における屈曲とバランス	10		
2.	CS S	尋常速歩 左へ直径10mの巻乗り	運歩の修正 巻乗りの正確さと、バランス、安定した屈曲	10		
3.	SP	斜め手前変換、尋常速歩 X通過時に1馬身程度 手綱を完全に伸ばし、 再び手綱を取る	修正、リズム コンタクトへと前方に伸展している 間のバランス	10		
4.	P PFA	右へ直径10mの巻乗り 尋常速歩	運歩の修正 巻乗りの正確さと、バランス、安定した屈曲	10		
5.	A	A通過時に3-5歩の常歩を 入れる	移行時のハミ受けと 後肢のエンゲイジメント	10		
6.	AK KXM	尋常速歩 斜め手前変換、中間速歩 (速歩または軽速歩)	修正、リズム 歩巾の増大	10		
7.	MC	尋常速歩に移行 尋常速歩	尋常速歩への移行時の修正と リズムの維持	10		
8.	C	停止、不動 そして	停止、不動(2-3秒)、バランスと 後肢のエンゲイジメント	10		
9.	C	4-5歩後退、 ただちに中間常歩で発進	バランスと運歩の修正 ハミ受け	10		
10.	CH HB BP	中間常歩 斜め手前変換、伸長常歩 中間常歩	歩巾の伸展、 コンタクトを維持した状態での 伸長常歩の修正とアウトライン	10		
11.		C-H間およびB-P間で 中間常歩	運歩の修正、リズム、アウトライン とハミ受け	10		
12.	P A	尋常速歩 尋常駆歩(右)	バランスと、速歩・駆歩への移行時 の扶助の受け入れ	10		
13.	V VES	右へ直径20mの輪乗り、 中間駆歩 尋常駆歩	バランスと、安定した屈曲 歩巾とフレームの伸展	10		
14.	H EK	直径12mの半輪乗り、 蹄跡上Eに戻る 右尋常駆歩 (反対駆歩)	正確さ、バランスと安定した屈曲 反対駆歩の修正	10		
15.	K A	尋常速歩 尋常駆歩発進(左)	バランスと、速歩・駆歩への移行時 の扶助の受け入れ	10		
計				150		

<b>FEI 総合馬術競技 1スター(1*) 2009 馬場馬術課目 A</b> <small>参考時間:入場から最後の敬礼まで - 約4分</small>	<b>CCI*/CIC* A</b>
---	--------------------

出番順                      競技者名    所属    馬名

				計	150		
		運動課目	着眼点	最高点	採点	観察所見	
16.	<b>AFP</b> <b>P</b>	尋常駢歩 左へ直径20mの輪乗り、 中間駢歩	バランスと、安定した屈曲 歩巾とフレームの伸展	10			
	<b>PBR</b>	尋常駢歩					
17.	<b>M</b> <b>BF</b>	直径12mの半輪乗り、 蹄跡上Bに戻る 左尋常駢歩 (反対駢歩)	正確さ、バランスと安定した屈曲 反対駢歩の矯正	10			
18.	<b>F</b> <b>A</b>	尋常速歩 中央線に入る 尋常速歩	速歩への移行、 矯正とリズム 中央線上の真直性	10			
19.	<b>L</b>	停止、不動、敬礼	停止と敬礼時の不動	10			
Aより退場							
小 計				190			

総合観察			最高点	採点	観察所見
20.	ペース	自由自在に変わり、かつ矯正であること	10		
21.	インパルジョン	馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント	10		
22.	従順性	注意力と従順、運動の軽快性及び無理のなさ、正しいハミ受けとコンタクト	10		
23.	騎手	騎手の姿勢と騎座、扶助の正しい使用とその効果	10		
合 計			230		

**減点すべきもの:** 運動課目の誤りと運動を抜いた場合

1回目    =    2点減点.....

2回目    =    4点減点.....

3回目    =    失権

合 計

<div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	

注1:運動項目に「軽速歩」とない限りは尋常、中間・伸長速歩は「(座った)速歩」で実施されなければならない。

注2:CIC\*/CCI\*運動課目においては、拍車は必須ではない。\*/\*\*\*運動課目においては必須である。

注3:\*運動課目においては、大靱は不可。\*/\*\*\*運動課目においては水靱と同様に大靱も可。

審判員署名

FEI 2009年1月1日施行  
JEF 2009年4月1日施行